

穂学



令和3年度

広州日本人学校 学校便り

[No.9]

令和3年9月29日(水)

発行責任者 校長 加藤康徳

「覚悟と情報と信頼で実施できた修学旅行」

「中学部2年の修学旅行を9月14日から17日に予定通り実施しました。」とここで記述することは簡単ではありますが、今年の修学旅行はその実施に向けて様々な問題をクリアしなければなりませんでした。中でも8月の中国国内の新型コロナウイルス感染拡大や9月の広州市内のホテル従業員の感染は報道で取り上げられた通りその実施に向け大きな障害となりました。(※この状況は幸いにも行政の努力で感染の拡大を終息させることができました。)

このような状況の中「修学旅行を成功させたい」という覚悟のもと、本校としては常に状況を確認しながら修学旅行を計画してきました。その計画推進の中で一番感謝したいことは、「北京への修学旅行を成功させるには保護者にもある程度リスクを引き受けてもらわなければならないこと」を7月28日の臨時保護者説明会で理解して頂いたことでした。学校からの修学旅行の意義、そして旅行者から説明されたリスクをご理解頂き、修学旅行を実施できたことは、本当に有難いことだと思っております。白雲空港から広州までの帰りのバスの中で私は「この修学旅行を実施するために学校を信頼してくれてありがとうと家の人に伝えてください。」と生徒にお願いしました。保護者の皆様に伝わっているでしょうか。さらに理事会をはじめとする信頼性の高い情報の提供、そして、迅速に感染拡大を阻止する市行政の対応と、この修学旅行が「覚悟と情報と信頼」をキーワードに各関係者のおかげで実施できたことに喜びを感じております。教育計画とは豊かな学びを子どもたちに保証するための計画です。当然のことながら現段階で考えられる最善の教育内容を記載しております。「ウィズ・コロナ」の状況の中、教育計画を着実に実行することの大切さと大変さをこの修学旅行で改めて実感しました。この広州日本人学校の歴史の中でも語り継がれる出来事の一つだと思っております。以前の穂学NO4でも述べましたが、今の時代、学校は常に「適正な教育活動ができないリスク」と「新型コロナウイルス感染症拡大のリスク」の狭間の中で揺れ動いております。これからも学校、保護者、市行政が「新型コロナウイルス感染症のクラスターを発生させない」ためにお互いがリスクを共有し、そして、お互いが信頼し、協力し合いながらこの状況を乗り切っていきたいです。

0(無:不可)と1(有:可)の間には無限の数字(小数)が存在しています。広州日本人学校はこれからも限られた条件の中でも、常に最善の方法を模索しながら子どもたちに「適切な教育」を保障していきます。

なお、現在国慶節で広東省以外への旅行を行った場合は旅行者全員のPCR検査をお願いしております。そこまで実施する必要性の是非を問う声も聞かれますが、「クラスターを発生させない」という学校側の覚悟に対する保護者の皆様のご理解とご協力をどうかよろしくお願い致します。



<在中国日本国大使館表敬訪問>



<信頼関係>



<広州市教育局長との面談 9/8>

「授業参観会・保護者会のアンケート結果を受けて」

9月4日（土）に開催した授業参観会・保護者会のアンケート結果がまとまりましたので、保護者の皆様にお伝えをいたします。

<授業参観の満足度> ①満足 ②おおむね満足 ③やや心配 ④不安

	満足← →心配・不安				(人数)
	①	②	③	④	合計
1. 授業の様子	96名	43名	3名	0名	142名
2. 子どもの様子	81名	56名	5名	0名	143名

※無回答1名

	満足度
1. 授業の様子	95.8%
2. 子どもの様子	92.9%

○満足度の算出方法

$$\frac{\text{満足 (①②)} - \text{不安 (③④)}}{100} = \text{満足度 (\%)}$$

<自由記述> → (学校側の回答)

※個別の案件については各担任に伝えております。

○「兄弟姉妹の懇談会に参加できない場合について」

○「懇談会と授業が交互になるのでどちらも最終まで参加できない」

→ このようなご意見は例年頂いております。スクールバスの運用方法も関係をしてきますので、再度検討させていただきます。

※必ずしも保護者の皆様の希望に添えない場合もあります。

○「中間テストの時期の開催について（中間テストの学習に集中できないのではないか）」

→ 全体の教育計画に関係する案件なので検討させて検討させていただきます。

○「保護者懇談会は落ち着いた雰囲気の中で話をしたい。（周りのおしゃべりが多かったようです）」

→ 保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

○「面談日は子どもを学校に残してほしい」

→ 危機管理の視点も含め検討します。※必ずしも保護者の皆様の希望に添えない場合もあります。

「JSG 秋フェスについて」

9月4日（土）の午後はPTA主催による「JSG 秋フェス」が行われました。コロナ禍ということで例年とは異なり一般の保護者は参加できませんでしたが、○×クイズ、ラッキードローなどで子どもたちは楽しいひとときを過ごすことができました。当日お手伝いをして頂きましたPTA 役員の皆様、おやじの会の皆様、そして子どもたちへの景品などご協力頂きました企業や団体などの皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

なお、この活動は今年度の学校経営スローガンの重点④に該当します。



<学校経営のスローガン>

「つながり」を「未来に実感」させる
 広州日本人学校の創造

<大切にしている5つのつながり>

④保護者・日本人社会とのつながり

※本来はPTA行事なのですが、今年度は課業日の開催でしたので本校としても一言お礼を述べさせていただきます。